

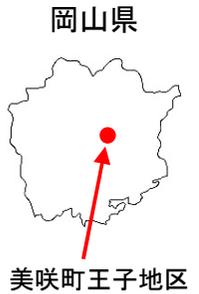
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 果樹(ぶどう)、水稻、畜産が主体の中山間地域
- 農業者の高齢化と担い手不足が懸念されるため、担い手を中心に農地集積を行い経営の効率化を進める必要がある地区

【支援内容・背景】

- 地域農業の発展・維持を図るため、農地中間管理機構の活用及び地域との話し合いによる農地集積による生産面積の拡大が必要。
- 助成対象者(本社は、美咲町に隣接する美作市)は、いちごやぶどうの生産・直売を始め、観光農園や6次産業化などを総合的に展開している事業者であり、事業者のさらなる経営発展に加え、王子地区の農地集積や地域活性化のため、美咲町の取組モデルとして支援。



助成対象者「(有)美作農園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成5年 いちご観光農園の開始
- 平成10年 法人設立
- 平成26年 (有)美作農園に改名
- 平成27年 経営改善計画の認定(美作市)
- 令和元年 経営改善計画の認定(美咲町)

《事業活用の背景》

○ いちご直売に加え、いちごを使った6次化商品による経営発展を図るためには、栽培面積の拡大が必要。高品質ないちごを安定的に生産するため、成長促進自動制御システムを導入したいちご生産ハウスを導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 売上高 168百万円
- 経営面積 25a
- 生産量 約12t
- 就業者 18人

《事業による整備内容》

- いちご生産ハウス 4,240㎡
事業費70,720千円 (国費30,000千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 売上高 188百万円 (112%)
- 経営面積 67a (2.7倍)
- 生産量 約27t (2.25倍)
- 就業者 22人 (122%)

事業の
効果

《対象者》 成長促進自動制御システムを導入し、いちご栽培面積の拡大、売上高の増大に貢献。

《地区》 地区の施設園芸(いちご)面積及び中心経営体への農地集積率が増加し、雇用の場が創出された。